



テトラパック  
わくわくチャレンジ  
CUP

2012 ディスクドッチ愛知県大会

# 報告書

平成 24 年 11 月 16 日



## 【大会概要】

名 称	「テトラパックわくわくチャレンジカップ」 ディスクドッチ愛知県大会 2012	
日 程	平成 24 年 11 月 11 日 日曜日	
時 間	9 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0	
会 場	名古屋市名東スポーツセンター 名古屋市名東区猪高町大字高針字勢子坊 307-12	TEL : 052-705-4948
天 候	曇りのち雨	
主 催	愛知県フライングディスク協会	
共 催	日本ドッチビー協会	
後 援	愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 (公財) 愛知県教育・スポーツ振興財団 (財) 名古屋市教育スポーツ振興協会 (N) 日本フライングディスク協会	
特別協賛	日本テトラパック株式会社	
協 賛	株式会社クラブジュニア	

## 【全体タイムスケジュール】

9 : 30 ~ 9 : 45	開会式・諸注意事項説明	
10 : 00 ~ 12 : 00	AM試合	(10 : 00 第1試合スローオフ)
12 : 00 ~ 12 : 50	昼食・休憩	
12 : 50 ~ 16 : 26	PM試合	(16 : 14 最終試合スローオフ)
16 : 40 ~ 17 : 00	表彰式・閉会式	

## 【競技方法】

①小学生低学年／レディース

総当たりリーグ戦

②小学生高学年／一般部門

予選リーグ、決勝トーナメント戦

【参加チーム 一覧】	合計	41チーム	366名
①小学生低学年の部 (1～3年) 5チーム 60名	アクトスフェニックスジュニアⅡ	名古屋市	10
	苗代Smile	名古屋市	11
	ガンバルキッズ	名古屋市	12
	アタックファイターズ	名古屋市	13
	JDC 子猿	知多市	14
②小学生高学年の部 (4～6年) 10チーム 130名	ファイヤーキッズ1	稲沢市	13
	ファイヤーキッズ2	稲沢市	13
	龍神	知多市	11
	苗代Victory	名古屋市	13
	G. D. Tサンダータイガー	犬山市	13
	G. D. Tダークフェニックス	犬山市	11
	JDC ボス猿	知多市	16
	新知ファンタオレンジ	知多市	13
	S T N	名古屋市	15
	ゆめフルたけとよ	武豊町	12
③一般の部 13チーム 121名	風神	知多市	10
	Team Boon	知多市	11
	アクトスフェニックスⅡ	名古屋市	10
	アクトスフェニックス	名古屋市	10
	チームASO 上からタカシ	名古屋市	10
	ASO マイスター	名古屋市	10
	Shiny ASO	名古屋市	10
	D-1アクロス・ザ・ユニバーズ	尾張旭市	9
	TEAM らんらん	丹羽郡扶桑町	10
	チャイルドライク	名古屋市	12
	JDC お達者クラブ	知多市	10
	新知ファンタジスタ	知多市	10
	SUN DC	江南市	9

④レディースの部 5チーム 55名	ASO 月組	名古屋市	10
	TEAM 燦 (きらり)	丹羽郡扶桑町	11
	ミヤビーヌ	知多市	12
	新知夜叉姫	知多市	10
	プリティーフラワー	名古屋市	12

### 【最終成績】

#### 小学生低学年の部 (1～3年)

優 勝	JDC 子猿	(知多市)
準優勝	ガンバルキッズ	(名古屋市守山区)
3 位	苗代Smile	(名古屋市守山区)

#### 小学生高学年の部 (4～6年)

優 勝	STN	(名古屋市守山区)
準優勝	苗代Victory	(名古屋市守山区)
3 位	JDC ボス猿	(知多市)

#### 一般の部

優 勝	D-1 アクロス・ザ・ユニバース	(尾張旭市)
準優勝	チームASO 上からタカシ	(名古屋市守山区)
3 位	風神	(知多市)

#### レディースの部

優 勝	新知夜叉姫	(知多市)
準優勝	ASO 月組	(名古屋市守山区)
3 位	TEAM 燦 (きらり)	(丹波郡扶桑町)

## 【講 評】

だいぶ気温も下がり、冬の到来を予感させるこの頃、当日の朝は曇天で冷え込みも強く予報では午後より雨とあまり良い天候とは言えぬ中、ディスクドッチ愛知県大会がおこなわれました。

本大会は愛知県フライングディスク協会が主催者となり毎年開催されていますが、今回は日本ドッチビー協会が共催となり経路で特別協賛社によるスポンサーが決定したことから、大会史上初となる冠大会として実施。

日本テトラパック株式会社の社会貢献プロジェクト事業の名称である「テトラパック わくわくチャレンジカップ ディスクドッチ愛知県大会 2012」という名称の大会となり、開催されました。



9：00より受付開始。  
受付では、協賛社より全参加者に  
参加賞が配布されました。

9：30開始の開会式では、愛知県フライングディスク協会寺田会長の挨拶に続き、特別協賛社の日本テトラパック(株) 桑田さんの挨拶があり、その後、愛知県フライングディスク協会 竹内事務局長による競技上の諸注意があり、シンプルに終了となりました。



2F観客席には、参加賞として配られた引換券によるドリンク交換場所として、およびPRスペースとしてテトラパックブースが設置されました。ひっきりなしに交換に訪れる参加者とキャラクターのぬいぐるみに惹かれる女の子などなど、常に盛況な様子が印象的でした。



大会は3面のコートを確保して全4部門 延べ41チーム、366名が集い熱戦が繰り広げられましたが部門ごとに印象を述べますと・・・

低学年部門の愛らしさは何処の地域においても変わらず、微笑ましい光景でドッチビーらしさの象徴であると感じます。



一方、愛知県における高学年部門は、かなりレベルが高く見ごたえ充分な感があるとともにチカラ試しの場として、もう少し大型の大会（いろいろな地域から集う）開催などが必要かと、あらためて感じました。



今大会で最も特徴的なのがレディース部門であると思います。

この部門が成立する地域は、いまのところ、愛知県のみと言え、ドッチビーの浸透度の深さ、広さが感じられます。



一般部門については、親子世代のミックス構成がなされているチームが複数あり、これは大きな【特長】であると感じるとともにドッチビーが目指すひとつの理想形が実現されているものとも言え、嬉しい限りです。

(子どもだけで集まらないため、そのような構成になった側面も・・・あるようではありますが・・・)



観客の応援なども含めた全体印象として、愛知県大会はチームの「和」を強く感じる大会でした。



スポーツにおける勝利のため、といった単純なこと以上に、地域におけるコミュニケーションツールとして、ドッチビーが有効な働きをしているものと想像させられる、そんな大会でした。



最後に表彰／閉会式がおこなわれ各協賛会社様から提供された副賞が贈られ、閉会式では、愛知県協会寺田会長より大会講評が述べられ、大会は締括られ、無事に終了しました。

